

清高ライブラリー

2019年2月28日



みなさんは普段、単行本、文庫本、新書等の言葉を耳にすることはありますか？これらは本の種類を表す言葉です。

単行本とは叢書（一定の形式によって刊行した書物。シリーズ。）の中の一冊としてではなく、単独で刊行された本のことです。

また、文庫本はA6判サイズ（105 mm×148 mm）、新書は新書判サイズ（103 mm×182 mm）で刊行された本のことで、ともに叢書に含まれます。

清瀬高校の図書館にも文庫はもちろんのこと、新書も数多く所蔵されていますが読まれる機会があまりないようです。

そこで、1月の下旬に新書の場所を移動させ、入口付近の見やすい場所に配架しました。新書は現代社会や日常生活における様々な問題を取りあげており、広い教養が身に付くと同時に小論文対策にもなる本です。興味のあるテーマを見つけてぜひ読んでみてください。

また、今図書館では伝記を展示中です。誰もが知っている偉人、名前だけは聞いたことがあるけれど偉業を知らない人等々、様々な伝記が並んでいます。こちらをあわせてご覧ください。

